令和 7 年 8 月 27 日

学校法人東京医科大学
理事会 御中

東京医科大学病院長代行選考委員会 報告書

東京医科大学病院長代行選考委員会

委員長　林　　由起子
委　員　大久保　ゆかり
委　員　瀬　戸　泰　之（外部有識者）
委　員　望　月　　稔
委　員　山　口　　徹（外部有識者）
委　員　山　口　博　樹（外部有識者）
（50 音順）

東京医科大学病院長代行候補者について（報告）

「東京医科大学病院長、茨城医療センター病院長及び八王子医療センター病院長選出規程」第 7 条に基づき、東京医科大学病院長代行選考委員会において、病院長代行候補者の選考を行った。これにより、同条第 6 項の規定に従い、以下のとおり理事会に報告する。

記

1．病院長代行候補者

氏名　：　阿部　信二
所属　：　東京医科大学 呼吸器内科学分野　主任教授
現職　：　東京医科大学病院 副院長

2．選考の経緯と理由

（選考の経緯）

令和 7 年 8 月 27 日（水）18 時より、東京医科大学病院長代行選考委員会を開催し、以下の事項について、審議・確認を行った。

・「病院長選出規程」第 7 条第 4 項に基づき、理事長 林由起子委員を委員長に選出
・選考委員会の役割と選出方法の確認
・病院長代行に求められる資格、資質･能力に関する具体的基準の確認
・候補者によるプレゼンテーションおよび質疑応答の実施
・候補者の病院運営に対する考え方や適性ついて評価

これらの選考の経緯を踏まえ、阿部信二副院長を病院長代行候補者として、理事会に推薦することが適当であると判断した。

（選考の理由）

別紙参照

令和 7 年 8 月 27 日
東京医科大学病院長代行選考委員会
委員長　　林　由起子

別　紙

（選考の理由）

候補者は、大学病院の副院長として 1 年間にわたり職責を誠実に果たし、その間に培われた経験と実績は、特定機能病院のリーダーとしての資質を十分に示している。

特に医療安全に対する真摯な姿勢は高く評価されており、高度な医療と安全管理の両立が求められる特定機能病院において、深い理解と実践力を有している。

また、卒後臨床研修センター長として、卒前・卒後教育にも積極的に取り組み、教育面でも強いリーダーシップを発揮している。特に、医療安全教育に対しては特段に配慮した運営を行っており、こうした取り組みが大学病院における高度な医療安全の水準を維持することに繋がっている。

教育・研究・医療の各分野においてバランス感覚に優れ、大学病院の多様な組織や部署の役割を的確に理解していることから、病院運営においても調和のとれた判断が可能である。

さらに、病院長職務代理としての短期間の勤務においても、その誠実で公平な人柄が職員に伝わり、「話しやすく相談しやすい」、「裏表のない性格」といった信頼を得ている。

これらの点から、候補者は病院全体を牽引するにふさわしい人格と力量を兼ね備えており、特定機能病院の管理者として適任であると判断した。

以上